

越前水仙

(生産振興課)

1 「越前水仙」とは

越前水仙は、越前海岸に咲く日本水仙の総称で、花が引き締まり、茎は太く、葉にはハリがあり、香りが強いのが特長です。

その理由は、低温でありながら雪が少ないことや暖流と寒流がぶつかる海域近くで風と温度が開花に適しているなどの地理的条件によるものです。

また、越前海岸の水仙は、千葉県房総半島、兵庫県淡路島とともに全国3大群生地のひとつに数えられています。



(1) 概要

① 県内の主な生産地

- ・福井市、越前町、南越前町の海岸地域で栽培されています。

② 生産量と主な出荷先

- ・栽培面積は約78haで、年間約270万本が出荷されています。
- ・市場への出荷は、関西市場に約70%、関東、中京、北陸にそれぞれ約10%ずつ出荷されています。
- ・越前水仙は、正月の生け花用として人気があります。

(2) 現在の取組み

① 生産性の向上

越前水仙は、斜度約30度の急峻な海岸段丘にある棚田や畑で長年栽培されてきましたが、高齢化の進展により、過密になった球根をボランティアの協力を得て改植することにより畑を再生しています。

② 生産と需要の拡大

生産性が高い「平坦地ハウス栽培」を進め、生産量を拡大するとともに、ボランティア活動でつながりができた華道協会等、花き取扱い業者への需要拡大を進めています。

(3) 新たな展開

① 生産の拡大

球根の養成・供給システムを確立し、新たな生産者の確保や生産量の拡大を図ります。

② 需要の拡大

首都圏等の大手生花店への売込みなどのPRを行い、新規取扱い店舗の開拓による販売先の確保を行います。